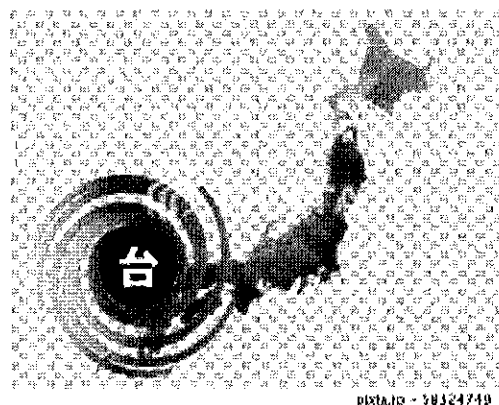


安全第一

昨日、安心メールでお知らせした通り、本日は4校時終了後、給食を食べてから下校という対応をいたしました。“嵐の前の静けさ”なのか、朝の状況を見ると無風。「何とか夕方まで持ちそうだな」とも思いましたが、やはり、生徒の安全が第一!!また、明日についても、予報では微妙なタイミングで風雨もおさまりそうですが、「何より、生徒の安全が第一!」との判断で臨時休校といたしました。気合十分の夏休み明け、その出鼻をくじかれたような気もしますが、まあ、ゆっくりと自宅で家庭学習に励み、明後日からの授業に備えてほしいと思います。よく“台風一過の晴天”と言われます。その言葉通り、台風通過後は秋晴れが続くようです。明後日から、また頑張ってほしいと思います。

ところで、今回の台風11号。迷走したり、2つの台風が合体したりと一風変わった台風で予想困難。気象庁も気をもんだことと思います。今後の動きについては、偏西風に乗りますので、ほぼ予報どおりで、恐らく、今日の夜から明日朝にかけて風雨が強まると思います。現時点で中心気圧が945hPa、最大瞬間風速60m/秒であり、大型台風であることは間違いありません。その余波も予想困難です。「風があまり吹いていないから」とか「大した雨は降っていないから」などの油断は大敵です。いずれにしても安全第一。今日の午後からと明日一日は自宅でゆっくり過ごしてほしいと思います。



DIXTA.ID - 58324749

せっかくなので・・・

台風を韓国語で言うと“태풍・テプン”。中国語は「台风」と書き、「tái fēng」(タイフォンに近い)と発音します。仏語ではtyphon。では、英語では?そう、タイフーン、ハリケーン、それともう一つ、サイクロン。では、その違いは・・・「typhoonは北太平洋西部(日本とか台湾付近)、hurricaneは北大西洋、カリブ海、メキシコ湾、北太平洋東部(アメリカ、メキシコらへん)、cycloneはベンガル湾、北インド洋、cycloneはベンガル湾やアラビア海などのインド洋、南太平洋でおこった熱帯低気圧のこと」だそうです。つまり、日本にやってくるのは“タイフーン”なのです。

台風は、「トロピカル・サイクロンのうち中心付近の最大風速が17m/s(34ノット、風力8)以上のもの」と定義されています。ですから、台風が九州を通過した後に勢力が弱まると、温帯低気圧に変わります。ちなみに、熱帯低気圧(台風)は温帯低気圧と違い、前線を伴わないのが特徴です。前線というのは・・・まあ、あまり深めるとごちゃごちゃするので今回はこれくらいで。いずれにしても、理科の授業で習いますので、しっかり学習し、理解して欲しいですね。

